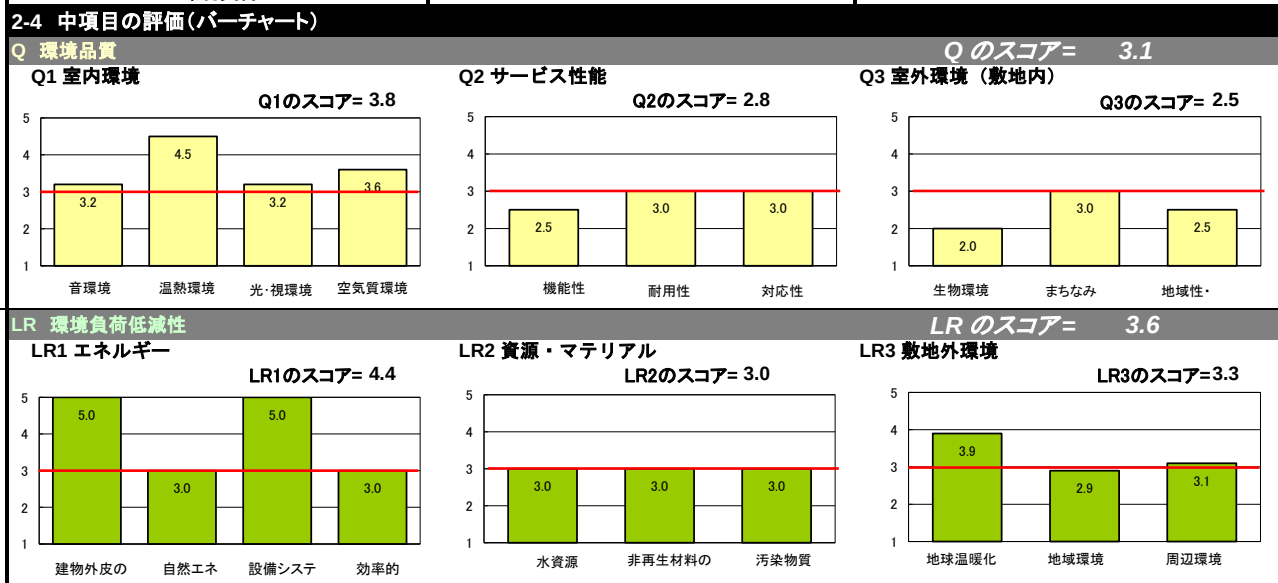
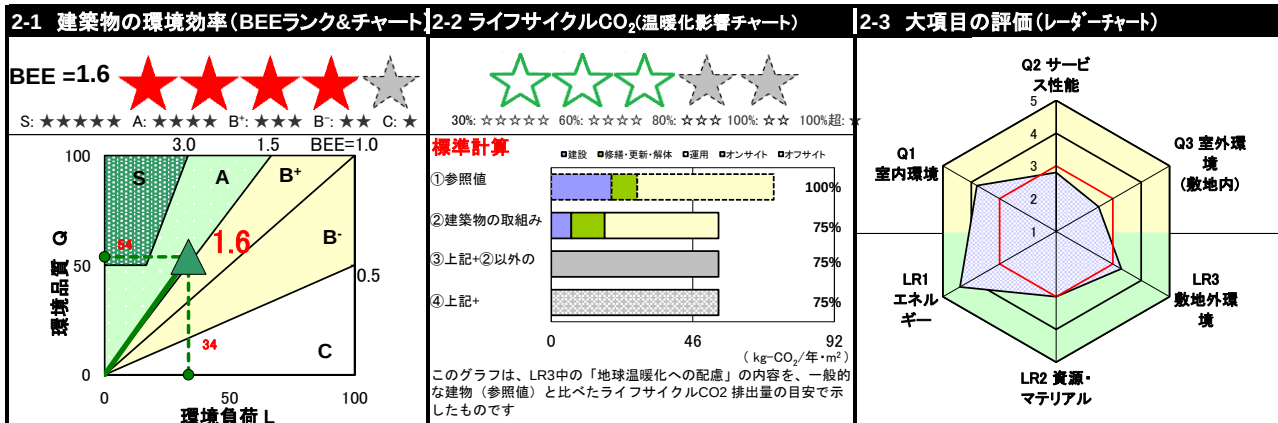


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(V1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)EXC蘇我駅前計画 新築工事	階数	地上12F
建設地	千葉県千葉市中央区南町二丁目15	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年6月17日
敷地面積	759 m ²	作成者	新日本建設株式会社 宇津見 聡
建築面積	384 m ²	確認日	2025年6月17日
延床面積	3,647 m ²	確認者	新日本建設株式会社 宇津見 聡



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺への圧迫感軽減のため、マリオンや袖壁で壁面を分節し単調なデザインにならないように配慮した。接道部やエントランスアプローチには緑地を計画し、自然を感じられる計画とした。		その他
Q1 室内環境 室内環境について、断熱等性能等級5とし、高い昼光率を確保している。また、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に配慮している。	Q2 サービス性能 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱等性能等級5、BEI=0.78としている。	LR2 資源・マテリアル LGS下地を採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率75%とし、光害抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される